



議会だより



【スポーツクラブ ラファイズ会津】

「スポーツクラブ ラファイズ会津」の紹介

- 設立年** 平成19年(2007年)3月
小学生年代だからこそ必要な動きづくりのために「様々な運動・スポーツを体験させたい」という思いから活動を始めた。現在は毎週土曜日の子ども向けの活動に加え、大人向けの活動を設け、世代や地域を超えた方々に楽しんでいただいている。
- 会員数** 70名(平成30年4月1日現在)
小学生：39名、大人：31名
- 活動日** ①毎週土曜日(13:30～16:30):小学生対象
②毎月第1・3土曜日(19:00～21:00):大人(中学生以上)対象
- 活動内容** ①小学生→身体を動かすことが好きになるトレーニングを中心として、チャレンジする気持ちを大切に活動している。
②大人→気軽に取り組めるビーチボールバレーを取り入れている。12月に主催大会を行っている。
③イベント→田植え、稲刈り、キャンプ、スキーなど
- 問合せ先** 代表 五十嵐勝裕(TEL090-3754-4649)
アドレス info@sc-lafise.com

ばんげの宝(グループシリーズ)

第1回定例会(3月議会)目次

- ◆第1回定例会の主な審議案件 ……2～5P
- ◆賛否の公表、請願の審査 ……6P
- ◆一般質問 ……7～17P
- ◆ばんげ未来トーク ……18P
- ◆新しい議会の構成 ……19P
- ◆みなさんの声・編集後記 ……20P

30年度一般会計予算可決

第1回 (3月) 定例会

3月8日から22日までの15日間で開催されました。町長から追加議案も含め議案36件（専決処分
の報告及び承認1件、人事案件2件、条例制定・改廃16件、平成30年度当初予算8件、平成29年度
補正予算8件、その他1件）が提案され、すべて原案のとおり可決しました。
また、12日と14日に一般質問が行われ10名の議員が登壇し町政について質問しました。さらに15
日には各常任委員会を開き提出された議案等を審議しました。本定例会中、請願1件が趣旨採択と
なりました。

予算特別委員会

平成30年度一般会計予算のほか7つの特別会
計予算について、3月16日、19日の両日、議員
全員による予算特別委員会（委員長：五十嵐正康
議員、副委員長：小畑博司議員）を設置し審議し
た結果、全て原案のとおり可決しました。各会
計の予算額は次のとおりです。

平成30年度各会計の当初予算の額

当初予算の前年度比較		(単位:千円)	
会計区分	H30	H29	対前年比
一般会計	7,187,000	7,370,000	▲2.48%
国民健康保険特別会計	1,955,658	2,279,068	▲14.19%
介護保険特別会計	2,183,656	2,065,685	5.96%
後期高齢者医療特別会計	178,619	175,924	1.53%
下水道事業特別会計	409,600	431,200	▲5.01%
坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計	190,245	259,630	▲26.72%
農業集落排水事業特別会計	68,400	70,100	▲2.43%
水道事業会計(収益的収入による比較)	500,051	507,478	▲1.46%

賛成討論

青木美貴子 議員

平成30年度当初予算
については、昨年度の福
島県による財政診断結
果からも町の財政状況
が非常に厳しい中での
予算編成であったと思
われる。扶助費に関す
る歳出額が伸びている
こと等を考慮すると、
減額となった以上に事
業の見直し等が実施さ
れている中、町の発展に
向けた最善の行政運営
をされることを要望し
案に賛成します。

五十嵐一夫 議員

只見線や日本遺産会
津三十三観音を活用
しての、観光客の誘致・
施設の充実、特にトイレ
対策は急務です。リピ
ーターを増やし、観光

反対討論

小畑博司 議員

町財政は厳しいもの
があると認識している
が、昨年、齋藤町長は
「町財政は厳しいけれど
大丈夫」と訴え、二期目
の運営をされてきた。
30年度予算は全て10%
削減の中、庁舎建設は
予定通り進められよう

反対討論

横山智代 議員

厳しい財政ですが、
子育て日本一を目指す
町でありながら、教育
費の図書費用、スクール
ソーシャルワーカーの
削減など、これからの
坂下町に生きる子ども
達の費用削減は認めら
れない。また、町職員の
研修費用減は、住民
サービスの低下、職員の
意欲の低下が危惧さ
る。以上の点で一般会計
予算に反対する。

賛成討論

交通弱者の重要な足
である定期バスも減便
が予定されており、この
ままでは庁舎は新しく
なったが、行政サービス
は低下するばかりと危
惧する。町民にも説明
責任が果たせません。
よって、反対する。

客を滞留させる取り組
みなど、人口対策が喫
緊の課題で最重要です。
実施の繰り下げ、補
助等の削減など、町民
にとつて承知しがたい
部分もあるが、国の財
政に頼っている以上や
むを得ない。町の今の情
勢を考えれば、現実的
な予算編成をしたと評
価する。

総額71億8,700万円 平成

平成30年度重点事業(一般会計) (単位:千円)

子どもを安心して生み育てられる環境の整備		特色を生かした農林業の振興	
妊婦乳幼児健診事業	14,902	農地集積協力金交付金	15,000
養育支援訪問事業	448	担い手アクションサポート事業	200
私立保育所等施設型給付事業	106,443	多面的機能支払交付金事業	138,187
放課後児童健全育成事業	15,378	営農再開支援事業(塩化カリ)	46,396
子育てふれあい交流センター事業	11,010	人の駅・川の駅・道の駅推進事業	10,000
安心して信頼ある教育の場の提供		農産物等販路拡大事業	
通学通園安全対策事業(幼・小・中)	68,034	ふくしま森林再生事業	66,214
特別支援教育支援員配置事業	7,104	個性を生かした商工業の振興	
学校サポーター推進事業	45	企業経営・雇用支援事業	560
教育相談機能充実(SSWの配置)	2,276	企業誘致推進事業	839
学力向上推進事業(指導主事配置)	348	中心市街地再構築事業	360
元気で健康なからづくり		街なか賑わい創出事業	427
健康増進事業	1,330	快適な生活環境の形成	
健康診査事業	21,856	役場新庁舎建設事業	100,332
医療機関・救急医療充実事業	60,290	空き家対策事業	258
予防接種事業	35,983	移住・定住促進事業	10,148
安心できる福祉の充実		空き家活用推進事業	200
介護予防事業・包括的支援事業	13,166	町営住宅用地分譲事業	1,108
安全・安心なまちづくり		公共下水道事業	125,560
汚染対策事業	840	地域づくりの推進	
食品等放射性物質検査事業	8,547	地域づくり推進事業	48,967
食材放射能検査業務	1,061	地域おこし協力隊導入事業	9,332
消防施設整備事業	3,311	住民と一緒に進めるまちづくり	
		協働によるまちづくり推進事業	300

上記以外の主な建設事業 (単位:千円)

事業名	事業費	事業内容
合併処理浄化槽設置整備事業	10,895	合併処理浄化槽設置補助
会津西部畜産運営事業	11,959	火葬炉等補修工事、和室等施設改修工事
防雪サブセンター新築事業	40,897	新防雪サブセンター外溝等工事
社会資本整備総合交付金道路整備事業	52,700	道路橋りょう定期点検、橋りょう修繕設計・工事
町営住宅改修事業	39,109	町営古町川尻団地外壁改修工事等
埋蔵文化財センター活用事業	25,000	広瀬コミュニティセンター2階へ埋蔵文化財センターを開設

町長等の給与の特例に関する条例改正

提案理由

特別職報酬等審議会の答申を受け、31年3月末までの1年間、町長30%、副町長・教育長15%給与を減額する。

反対討論

五十嵐一夫議員
報酬カットは大衆迎合的な選挙公約であり、一定期間報酬カットを実施したので、再度提案する必要はない。報酬を削減することよりも、町長が東奔西走トップセールスを励行し、報酬額以上の成果を出すのがベターです。
町長退職金の2期目以降の支給廃止を要望する。

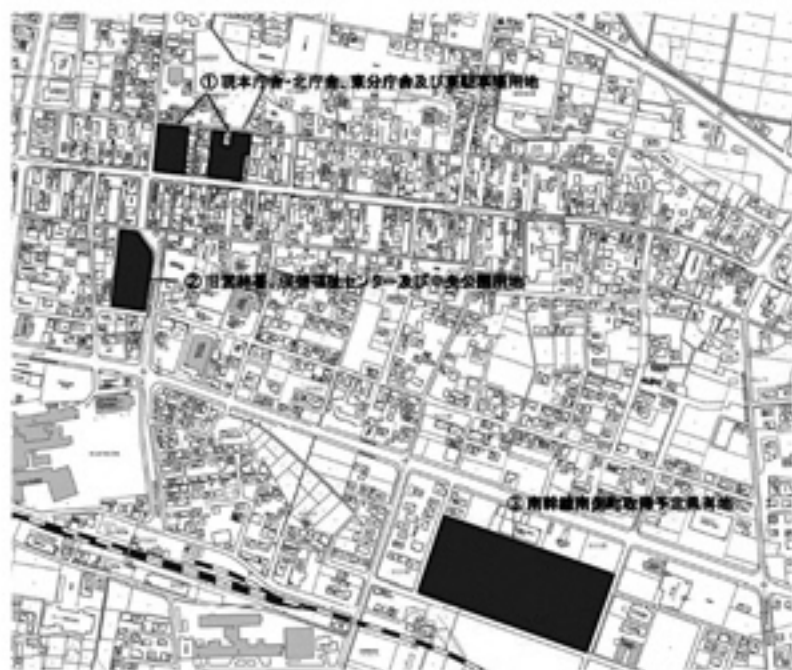
役場新庁舎建設場所 賛成多数で可決

現本庁舎・北庁舎、現東分庁舎、現東駐車場用地に決定

会津坂下町役場新庁舎 建設場所について

提案理由

新庁舎建設検討委員会からの中間答申を踏まえ、駐車場の確保、利便性や社会性、建設費抑制などの経済性・事業性を考慮し総合的に判断した結果、「現本庁舎・北庁舎、現東分庁舎、現東駐車場用地」を建設適地としたため、議会基本条例第6条第2項に基づき議会の議決を求める。



賛成討論

山口 享議員

検討委員会からの中間答申及び庁内検討会、町長判断を強く尊重する。そして次の四点からも最適と判断する。①駐車場、②コスト、③街づくり、④コンパクトシティ構想。そして、中心市街地活性化のためにも最適である。

渡部 順子議員

検討委員会では、町有の未利用地等を活用し整備費用の削減を図ることを基本とし、整合性・整備費用の抑制が図られ「現本庁舎・北庁舎・東分庁舎及び東駐車場用地」が適地とされた。答申を尊重し、今後は町民の利便性、防災拠点機能、効率的な行政機能になる設計を強く要望する。

五十嵐 正康議員

庁舎建設候補地が現庁舎周辺地域での建設という選択となった大

反対討論

赤城 大地議員

一定の理解を示すが、次にこの議論がなされるであろう50年後の未来にまで思いを馳せたのか。その点について疑問が残る。また、私が町民の皆様から聞いた、とりわけ若い世代の意見の多くは原案と異なっている。そのため、この町に住む若者一人として、そして50年後もこの町に生きている責任がある者として、本案に反対する。

佐藤 宗太議員

当町は、会津西部の子育てと福祉・医療の中核であり、都市計画により、南幹線が開発され、教育施設、福祉・医療施設が集約され、将来のまちづくりが行われてきている。現庁舎周辺は、民地買上、防塵・防音対策、地盤強化、周辺の保障等のコスト高が懸念される。また、ハザードマップで浸水地域と指摘され適切とはいえない。

議員定数条例改正 賛成多数で可決

現行定数16名→14名(次の一般選挙)

議員提出議案第1号

議会議員定数条例の一部を改正する条例

提案理由

議会改革特別委員会の議論の結果を尊重するとともに、町の人口減少などを鑑み、議会議員の定数を次の一般選挙から2名削減し、14名としたい。

賛成討論

山口 享議員

今や待ったなしの行政改革を取り組む本町、また大変厳しい町財政状況を考慮した時、議員定数削減は時代の流れである。また、定数削減条例を議員自らが提出しなければ、町民・市民団体から直接請求の動きもある。議会自ら率先垂範、襟を正して提出する議案に賛成である。

渡部順子議員

町民の声なき声を拾い上げるため現状維持が望ましいとの意見も理解できるが、町民の声を最大限にまとめ、人口減少や財政問題もあわせて考えれば、議員定数は削減すべきと考える。2名削減でも議員一人ひとりの活躍によって、十分に町を支えることができることを確信している。

酒井育子議員

町民から定数削減の声が多く寄せられ、また、議員定数と町の人口減少や財政問題とは切り離すことができない。今後の人口推計で4年後には、1万4千人台になると見込まれており、改正の根拠とした人口千人に対し議員1名の考えに近い。また、議員数の減少により行政監視機能の低下を心配する声もある

が、議員1人1人の努力で克服できる。

渡部正司議員

議会機能を発揮するために、合議体である議会としての意思を示すことが必要で、その生命線は議員間討議ができること。議員間討議ができる数が定数の重要な基準とされ、最低数は7名といわれる。このことから、1常任委員会7名の構成が可能となり、議員数は14名としても議会機能は維持できるものと考ええる。

反対討論

五十嵐一夫議員

高寺地区は人口781人で、議員1人を割り振ると定員が21人必要となり、地域選出議員がない地区が出るこ

多くの特色ある声や意見が町政に反映されるには、議員は多くあることが望ましい。

議会機能が失われないうよう、削減案に反対する。

佐藤宗太議員

福島県の自治体では東京電力福島第一原子力発電所事故により、諸問題に加え終わりの見えない復興・風評被害払拭に取り組んでいる。議員数削減は、最も身近な政治の窓口が減ることにより、民意を町政に反映させにくくなることや監視機能の低下につながり、最終的に、町民に不利益をもたらすことが懸念される。

横山智代議員

地方議員は、町民と町政をつなぐ住民自治の重要な担い手で、議会と行政に住民の声を届け、行政運営を住民の立場から監視し、チェックする重要な役割を持っていきます。したがって議員定数は、住民の多様な意見をより正確に反映させることができる規模が必要です。議会改革は、議員の削減で図れるものではありません。

小畑博司議員

議会改革の一環として、定数を減らせば議会改革になるとの考えには立てない。少子高齢化が進んでも役場の仕事は減るどころか増えていくと思う。困難な情勢のなか、行政の検証と政策立案の能力を高めることこそ、町民の付託に応える改革につながるものと思う。

審議案件に対する賛否の状況（賛否が分かれた議案）

件名	1 物江政博	2 赤城大地	3 横山智代	4 渡部正司	5 小畑博司	6 佐藤宗太	7 山口享	8 三橋薫	9 青木美貴子	10 五十嵐正康	11 渡部順子	12 五十嵐一夫	13 水野孝一	14 酒井育子	15 猪俣恒雄	16 古川庄平
町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	議長
役場新庁舎の建設場所について	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
平成30年度一般会計予算	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
文化・体育振興基金条例を廃止する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
平成29年度一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議会議員定数条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	議長

上記以外の議案は賛成全員で可決しました。 ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 議長は採決に加わりません

審議したその他の議案

専決処分

○一般会計補正予算
(第8号)

条例制定

○指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例
○埋蔵文化財センター条例

条例改正

○税特別措置条例
○国民健康保険条例
○国民健康保険税条例
○介護保険条例
○指定地域密着型サービス

○指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例
○指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例

○後期高齢者医療に関する条例
○都市公園条例

○企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例

○公民館条例
○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

○国民健康保険特別会計
○介護保険特別会計
○後期高齢者医療特別会計
○下水道事業特別会計
○坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計
○農業集落排水事業特別会計

○水道事業会計

○国民健康保険特別会計
○介護保険特別会計
○後期高齢者医療特別会計
○下水道事業特別会計
○坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計
○農業集落排水事業特別会計

○水道事業会計
○29年度補正予算
○国民健康保険特別会計
○介護保険特別会計

○後期高齢者医療特別会計
○下水道事業特別会計
○坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計
○農業集落排水事業特別会計
○水道事業会計

○後期高齢者医療に関する条例
○都市公園条例

監査委員

監査委員の選任

(議案第2号)

賛成全員で同意



仙波利郎氏

仙波利郎氏(再任)
【青木68歳】の選任に同意しました。仙波氏の任期は平成30年4月から4年間です。

教育長

教育長の任命

(議案第36号)

賛成全員で同意



鈴木茂雄氏

3月末で辞任する佐藤教育長の後任として、鈴木茂雄氏(新任)【西会津町60歳】の任命に同意しました。

請願を審査しました

◆請願第1号 生活保護基準引き下げの撤回を求める意見書の提出についての請願

請願者

いのち平和守り隊ばんげ

代表 広田陽太郎

○文教厚生常任委員会に付託され、審議の結果、生活保護基準について議論の余地はあるが、請願の趣旨は理解できるとした委員長報告のとおり、賛成多数で趣旨採択となりました。